

英語科教員等の海外派遣研修について

事業概要

目的 ○最新の英語教授法を学び、自らの教科の指導力を高めるとともに、異文化理解を深め、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

○研修の成果を自校のみならず、自地区の他の教員に広め、英語の指導力の向上を図る。

派遣対象 及び 規模 若手を中心とした外国語（英語）科教員（中学校・高等学校）及び小学校教員 140 名

派遣先 及び 派遣期間 (実績)…英語圏の国としてアメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド等を想定

平成 26 年度 前期 【9/ 4～11/30】 オーストラリア（ニューサウスウェールズ大学）、

後期 【1/4～3/22】 アメリカ（カリフォルニア大学）

平成 27 年度 第 1 期 【6/13～ 8/23】：アメリカ（カリフォルニア大学）、ニュージーランド（クライストチャーチ大学）

第 2 期 【7/31～10/11】：オーストラリア（マッコーリー大学）、オーストラリア（ニューサウスウェールズ大学）

第 3 期 【1/ 9～ 3/20】：アメリカ（カリフォルニア大学）

平成 28 年度 第 1 期 【6/18～ 8/27】：アメリカ（カリフォルニア大学）、カナダ（ブリティッシュコロンビア大学）

第 2 期 【7/23～10/1】：オーストラリア（ニューサウスウェールズ大学）、ニュージーランド（クライストチャーチ大学）
英語教育推進リーダー 【6/25～8/21】：アメリカ（カリフォルニア大学）、オーストラリア（ニューサウスウェールズ大学）

平成 28 年度

○派遣目的の追加

○派遣規模の変更

○新たな派遣先

○その他の

これまでの派遣目的に加え、小学校教科化に向けた地域の推進リーダー育成を追加

中・高教員の派遣規模を現在の 140 名から 100 名に変更、小学校教員 40 名を対象としたコースを新規設置

新たにカナダを派遣先に設定

本研修周知のため、派遣先大学関係者等を招へいした報告会及びシンポジウムを実施

「次世代リーダー育成道場」の概要

I 事業概要

都立高校、都立中等教育学校、都立中学校に在籍する生徒 200 人を対象に、平成 24 年度に開設した留学支援事業である。事前研修や海外留学、事後研修を通して、将来、様々な分野で活躍し、日本や東京の将来を担う人材を育成する。

II プログラムの内容

1 事前研修

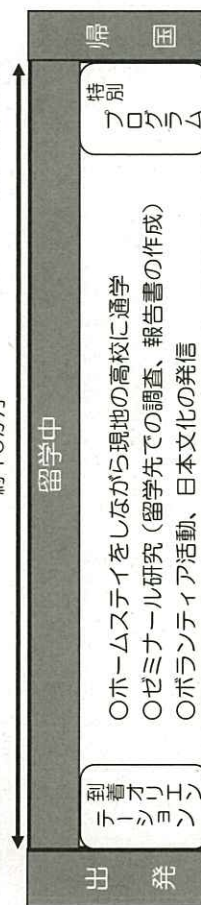
※第 4 期生の例 ※肩書きは当時のもの

プログラム	内 容
講義	ビジネスや科学・文化など各界のリーダーによる講義 講師：藤井清孝氏（ザ・リアルリアル株式会社代表取締役社長） 八木早希氏（フリーキャスター） 講義を踏まえた研修生によるディスカッション
英語実践演習	日常生活におけるスピーキング・リスニング、現地の高校の授業を想定したディスカッション・プレゼンテーション等の演習
英語による講義	社会科学や自然科学に関する英語による講義、ノート・テイキング等の演習
ゼミナール研究（国内での調査）	個人の研究テーマ（現代社会における諸問題）に基づく調査・研究の実施及び報告書の作成、発表及び協議 ※留学中も継続して実施
日本の歴史に関する学習	中央図書館での史料見学、近現代史の講義、都内巡検
日本の伝統・文化	能・狂言の鑑賞・体験、ワークショップ（折り紙、茶道、風呂敷）
先端技術施設の訪問	つくば市の研究施設を訪問し、「宇宙・産業コース」「農業・食品コース」「自然エネルギーコース」「ロボットコース」「まちづくりコース」の五つのコースに分かれての見学や体験
国際交流サミット	各国からの留学生との意見交換

2 留学

約 10 か月

※第 4 期生の例



○到着オリエンテーション：現地の高校への提出書類の作成、買い物体験などによる英語学習
○特別プログラム：大学での講義・キャンパスツアー・現地大学生との交流、グローバルリーダーをテーマにした講義、企業訪問

<派遣先>

期 (入校年)	コース	派遣期間	人数	派遣国
1 期生 (平成 24 年)	A	平成 25 年 1 月～平成 25 年 11 月	50 名	オーストラリア
	B	平成 25 年 8 月～平成 26 年 6 月	46 名	アメリカ合衆国
	C	平成 25 年 3 月	50 名	アメリカ合衆国
2 期生 (平成 25 年)	A	平成 26 年 1 月～平成 26 年 11 月	100 名	オーストラリア (50 名) ニュージーランド (50 名)
	B	平成 26 年 8 月～平成 27 年 6 月	99 名	アメリカ合衆国
3 期生 (平成 26 年)	A	平成 27 年 1 月～平成 27 年 11 月	96 名	オーストラリア
	B	平成 27 年 8 月～平成 28 年 6 月	95 名	アメリカ合衆国
4 期生 (平成 27 年)	A	平成 28 年 1 月～平成 28 年 11 月	100 名	オーストラリア
	B	平成 28 年 8 月～平成 29 年 6 月	99 名	アメリカ合衆国
5 期生 (平成 28 年)	A	平成 29 年 1 月～平成 29 年 11 月	100 名	オーストラリア・ニュージーランド
	B	平成 29 年 8 月～平成 30 年 6 月	100 名	アメリカ合衆国・カナダ

※5 期生の派遣期間、派遣国については予定

3 事後研修

- 成果報告会：ゼミナール研究の発表
- その他：各所属校における成果発表

<研修生と修了生合同の会>

○フォーラム
基調講演：三浦豪太氏
(プロスキーヤー・医学博士)
研修生：事前研修の成果及びゼミナール研究の発表
修了生：ハネルディスカッションへの参加
○合同研修会
ワークショップへの参加
研修生：現地の高校での科目登録について
修了生：短外大学進学について
研修生と修了生の交流会



フォーラムにて、修了生がハネルディスカッションに参加
(平成 27 年 12 月 20 日)

平成28年度

外国語体験講座 受講生募集!

「いろいろな外国の言語や文化にふれてみよう!」

初めて外国語を学ぶ人も気軽にご参加いただけます。外国語の基礎知識やその国の習慣・文化に関する知識・理解を深める講座です。基礎から始めるので、初めて学ぶ人はもちろん、復習を兼ねて学びたい人もご参加いただけます。

外国語のネイティブ講師1名とサブ講師1名の計2名が担当します。

(今年度募集するコースは、平成27年度と異なり、「初心者コース」「経験者コース」の別はありません。)

中国語

フランス語

ドイツ語

韓国・朝鮮語

スペイン語

ロシア語

イタリア語

募集人数

各言語30名程度
応募多数の場合は抽選となります

対 象

都立高等学校及び中等教育学校(後期課程)に在籍する生徒の中で、以下のような人を対象としています。

- 英語以外の外国語に触れてみたい人
- 外国の文化や習慣について知識・理解を深めたい人
- 将来、仕事で外国語を使いたい人 等

会 場

- 区部会場：言語ごとに異なるため、受講者決定後に個別
- 多摩会場：お知らせします。

日 時

第1回：10月2日(日)	第6回：11月6日(日)
第2回：10月9日(日)	第7回：11月13日(日)
第3回：10月16日(日)	第8回：11月20日(日)
第4回：10月23日(日)	第9回：11月27日(日)
第5回：10月30日(日)	第10回：12月4日(日)

各言語、全10回(10日間)で1コースの設定です。原則10回全てに参加できる人が受講対象です。ご希望の言語を1つお選びください。

時 間 帯

(区部会場中国語)	11:30~13:30	(多摩会場中国語)	11:30~13:30
(区部会場フランス語)	11:30~13:30	(多摩会場フランス語)	11:30~13:30
(区部会場ドイツ語)	14:00~16:00	(多摩会場ドイツ語)	9:00~11:00
(区部会場韓国・朝鮮語)	14:00~16:00	(多摩会場韓国・朝鮮語)	14:00~16:00
(区部会場スペイン語)	9:00~11:00	(多摩会場スペイン語)	14:00~16:00
(区部会場ロシア語)	14:00~16:00	(多摩会場ロシア語)	14:00~16:00
(区部会場イタリア語)	11:30~13:30	(多摩会場イタリア語)	11:30~13:30

応募に関する詳細は裏面をご覧ください。

▼ 応募方法

【電子メールでの申込】

宛先アドレス tagengo@nova.co.jp

件名は、「外国語体験講座申込」としてください。

以下の項目をご記入の上、送信してください。

※記載内容に不備があると、受講できない場合がありますので、ご注意ください。

- 1 希望言語（一種類のみ記載）
- 2 希望会場 ①区部、②多摩、③区部（応募者多数の場合、多摩も可）、
④多摩（応募者多数の場合、区部も可）
- 3 所属学校名・学年 4 氏名・ふりがな
- 5 連絡先電話番号 6 連絡先メールアドレス
- 7 住所 8 保護者連絡先氏名・電話番号
- 9 希望する言語を学んだ期間（例：3か月、1年 など。初めて学ぶ人もご参加いただけます。）
- 10 受講希望理由
- 11 その他（車いす使用等、特別な事情がある人はご記入ください。）

上記事項をご記入の上、送信してください。

募集締切

平成28年9月14日(水) 17時

応募多数の場合は抽選となります。抽選結果については、9月26日(月)までにお知らせします。
受講決定者には、受講に関する詳細もお知らせします。

▼ 会場について

会場は区部会場と多摩会場の2つの会場を設定します。

言語ごとに異なるため、受講者決定後に個別にお知らせします。

中国語

フランス語

ドイツ語

韓国・朝鮮語

外国語 体験講座

スペイン語

ロシア語

イタリア語

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

